



新年明けましておめでとうございます。

東京インテリアプランナー協会

会長 中川 誠一

昨年は JIPAT に激震が走りました。前専務理事による不祥事が発覚し、多くの会員の皆様大変ご迷惑をお掛けしたことを改めてお詫び申し上げます。

しかし、総会において私たち執行部を始め、理事、監事全員が責任を取ることで皆様よりご支持を得られましたことに対し、厚くお礼申し上げます。さて、新年を迎えて世の中の経済状況も少しずつ回復してきた兆しが見えます。インテリアを取り巻く環境も変わりつつあり、昨年開催された「デザイナーズウィーク」とイギリスからの「100%デザイン」が5日間で70,000人もの来場者を集めたことは、フェスティバル的要素の多い展示会ではありましたが、インテリアに強く興味を持った人々が増えてきたことを物語っているように思います。

昨年の IPEC21 は、いつもより早い9月の開催ということもあり出展者も来場者も少し減少しました。5年間も継続出来たことは JIPAT の会員の皆さまの熱い情熱と努力と責任感の賜物だと感謝いたします。知名度も徐々に上がってきましたが、まだまだ力不足なところがあります。そこで今年からは(社)日本インテリアファブリックス協会が主催をしている JAPANTEX と共同開催をすることを決定いたしました。プロの来場者を求めている JAPANTEX と、より多く人々にインテリアのプロとしての仕事をアピールしたい IPEC21 とが一緒になることによって、更に質の高いインテリアの展示会となり、私たちプロフェッショナルとしての IP が改めて力を発揮できる場が生まれることによって、インテリアの活性化を高めることが可能となります。ご期待ください。

本年1月5日～9日までパリにおいて開催された Salon du Meublu de PARIS に IPEC21 デザイナーズ・ショーケースが3回目の出展をしております。今年は単独ではなく「NIPPON DESIGN」というパビリオンでインテリアエレメントやプロダクトと一緒に日本のデザインをアピールし、好評を博しました。詳細は次の機会に報告いたします。

■ J I P A T 見学会「ホテルエミオン」見学譚

紀宮様のご成婚に日本中が沸いた平成17年11月15日、J I P A T 「ホテルエミオン見学会」に参加。新浦安駅から整然と区画された新興住宅街の中に、椰子が立ち居並ぶ南国ムードあふれる「ホテルエミオン」があった。道路に面したカフェ、レストランには若い主婦が集い、昼のひと時を談笑しながらランチを楽しむ光景が見える。ホテルへの期待感が否応無く高まる。ロビーに入ると「こんにちは」女性スタッフの笑顔とともにお出迎え。来訪の意を伝えると見学会受付に通される。受付に行くと清掃員、男性スタッフが「こんにちは」「あれ、妙な違和感が……」。そうだ、そうなのだ。普通、ホテルではお客様を「いらっしゃいませ」と出迎える。この一言はどうしても従業員と「私はお客様」という、ひとつの垣根を作ってしまうが、「こんにちは」は従業員に妙な親近感を与えてくれる。



そう思い直して、よくよく見ると、従業員は「かりゆしシャツ(おそろく)」にブレザー、受付にじっとしているのではなく、ロビーで記念撮影のお手伝い、自動ドアをさりげなく開けるといった気取らないアットホームな雰囲気にあふれ、活気に満ちている。そんな心地よさを感じながら、見学を始める。見学者は総勢51名、5班に分け順次見学会がスタート。2Fの大浴場をまず見学。色々な種類の温泉があり、マッサージルームまで整備されており、都市型ホテルとは思えない風情がある。しかも温泉ホテルとは違った洒落た雰囲気もまた格別。出来れば入湯したかったがそんな時間は当然無い。後ろ髪を引かれる思いで食堂、レストランのある最上階へ。見晴らしも然ることながら天井の高さなど、ゆったりとした作り。そして待望の客室へ。まずはスイートルーム、こんな時でないと思えない風情がある。リビング、窓に面したバスルーム、ベッドルームなどがゆったりとした空間に配置されている。バスルームは窓から見える夜景を堪能しつつ、良く冷えたビールをゴクリと飲む。まるで、王様になった気分が味わえそう。やはり今回の見学会の目玉とあって、参加者の目の色も変わってきた。



様々な箇所にチェックの目が及「ここはどうなっているのだろう」、上から下から覗き込む。「この照明は……」「この作りは面白い」。各人、興味の対象は違うもの一様に関心が高い。限られた見学時間なので一同スイートを後に次の部屋に。その後、テラスルーム、和洋室、ツインルーム、和室などを見学。各部屋とも、様々な工夫・デザインが随所になされていて非常に面白かった。気が付くと1時間半の見学も終了。短い質疑応答の時間ではあったが、関心の高さから様々な質問が出て、ホテルエミオンの設計に携わった日本設計/古野氏が丁寧に答え、見学会が無事終了した。次回予定の「東京競馬場」見学会も楽しみである。稚拙なレポートでホテルエミオンの魅力を存分に表現できませんでしたが、リーズナブルな価格で宿泊者へ最大限のサービスを提供する「ホテルエミオン」は一泊の価値あるホテルでした。

■ 途中下車

壁面収納の家具の依頼があり出かけた先が、なんと以前NLでも取り上げた同潤会アパートの跡地に出来た（2月オープン）安藤忠雄氏の設計で鹿島建設が建てたアパートメントであった。住居個数は34世帯で残りの90数軒は店舗だそうで、昔の同潤会の面影は東側に一部資料館として残してありました。森ビルの営業担当者によると建築基準法の関係で内部は現在の法に合ったものにしてありますが、表は以前の姿を残しましたと説明がありました。ロケーションとしては表参道の地下鉄を降り原宿に向かうと最初に飛び込むのはLOEWE CELINE FENDI ANNIVESAIREと女性から見ると垂唾ものです。その先に表はブルーグレーのガラス貼りの建物が現れます。1階にはSTAR JEWELRY BUTTEGA VENETA等のロゴが見えてきました。私が入ったのは一番西側からでアプローチは



コンクリートの打ちっ放しの吹き抜けて、エレベーターで四階の最上階に案内され、部屋の床は桜のナチュラル仕上げ、壁は白のクロスで南側は全面掃き出し窓のベランダで櫻の落ち葉がはらはらとふりそそいでいました。その広い窓を助けるため大きな筋交いが天井から床に突き刺さっております。住居というより事務所にした方が価が有るようになってきました。こんな良い場所なのでさぞ購入にはかかったでしょうと伺いますと、以前の同潤会アパートに父が住んでいて、建替えの話があった時譲り受けたそうで、話題性があるのでしばらく住んでみようと思ったそうです。

■ 3分間のタイムスリップ最終回

イギリス様式のまとめとして様式を記載して見ました

ネッサンス初期 1509～1603

1509-1558 TUDOR チューダー様式

1558-1603 ELIZABETHAN エリザベス様式

スチュアート期 1603-1688

JACOBEAN ジャコビアン様式

(スチュアート家の洗礼名がヤコブス)

アーリー ジャコビアン (前期)

1603 - 1625 ジェームス1世

スコットランドのメアリ・スチュアートの子供 James・Jacobean がジェームス1世として王位につく。

1625 - 1649 チャールズ1世

議会を無視したため反逆罪でギロチンに、、、

1649-1660 CROMWELLIAN クロムエイリアン様式

Cromwell (英国将軍) が議会から護国卿の称号を与えられたが、独裁者の道を進んだ (クロムエイリアンとは、クロムウエルのな、、、)

レストジャコビアン (後期)

RESTORATION レストレーション期 1660 - 1685

クロムウエルが死んでチャールズ2世がフランスから呼び戻され、王政が復興した。この時代を王政復興期と呼ぶ。Restoration health (健康が回復した) などの レストレーション

1685 - 1688 チャールズ2世に子供がなかったので、弟のジェームス2世が即位。しかし、彼はカソリックを支援したため追放。

1689 - 1702 WILLIAM AND MARRY ウィリアム・メアリー様式

アングロダッチ期 1689～1714

アングロ・ダッチとは、アングロ・サクソン (イギリス魂と言う) 様な) アングロ・ダッチとはオランダ風の意味でオランダのオレンジ公ウィリアムにイギリスの改革を議会が要請した。これを名譽革命とも呼ぶ。彼はジェームス2世の長女のメアリーと結婚していたので、二人が共同の王位を継承した。

1702 - 1714 QWEEN ANNE **クイン・アン様式**

ウィリアムとメアリーには子供がいなかったので、ウィリアムが亡くなると、メアリーの妹のアンが王位につく。

アンが亡くなると、跡継ぎが育たなかったのでスチュアート家の遠縁に当るドイツのハノーバー家からジョージ1世が迎えられた。

1714 - 1830 GEORGIAN **ジョージアン様式**

Georgie I世からIV世までを言う Georgian ジョージ王朝風の、1714～1727 ジョージ1世 1660生まれ ドイツ生まれで54歳だったので英語が話せなかった。

1727～1760 ジョージ2世

1760～1810 ジョージ3世

1837～1901 REGENCY リージェンシー (摂政様式)

1830～1837 ウィリアムIV世

1837-1901 VICTORIA **ヴィクトリア様式**

ジョージ3世の子供で、イギリスの近代化に大きく貢献した。

初期、古典主義横が見られる。

中期、アンピール様式の影曹が大きい。

後期、ゴシック・リバイバルの傾向が出てきた。

悪い面も多く、イギリスの近代化のため多くの資源が必要になり、資源を略奪するため1877年にインド皇帝を名乗り、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドなどの国を先住民から奪い取り黄金等を横取りして、中国にはアヘンを押し付けたりした。

JIPAT事業委員会 & 忘年会

12月19日夜景の素敵な神楽坂アインスタワー24階オーナーサロンにおいて、総勢15名が参加したJIPAT事業委員会 & 忘年会。

オーナーサロンには、ジャズの音楽が流れ、魚河岸より派遣された隠れた一流料理人*富田順三*料理長の料亭でも口にする事の出来ないような高級料理の鯛づくしで、ゲストの委員は豊饒の時間を過ごしました。

感嘆の料理批評を行う*稲垣雅夫委員長*

山葵おろしに奮闘する*高島幸一委員*



魚河岸より派遣された隠れた一流料理人*富田順三委員*



相模湾の荒波で育った大きな真鯛をまえに

神楽坂の素敵なパーティールームのオーナー*鎌田博子委員*と一流料理人*富田順三委員*

日時:平成17年12月19日(月)18時30分~21時00分

場所:神楽坂アインスタワー24階オーナーサロン



朱うるし塗の大皿にもられた豪華な*焼き物3品*

お料理レシピ

- | | |
|-----|---|
| 前菜 | 小梅の大根おろしと四国ちりめんじゃこ
千葉産枝豆 |
| 刺身 | 東京湾産真だこ 槍いか 中トロ |
| 焼き物 | 若竹の玉子焼き
芝えびの塩焼き 銀杏
槍いかの塩焼き
真鯛の茗荷蒸し焼き |
| なべ | 真鯛のしゃぶしゃぶ |
| お食事 | 鯛めし
うしお汁 |
| 漬物 | 白菜 赤カブ |



乾杯*ゲストの顔ぶれのよさ*

事業企画委員会の後、乾杯。東京湾産真だこの柔らかさ、芝えびの塩焼きの香ばしさ、身の引き締まった鯛しゃぶしゃぶに舌鼓、新鮮で頬も落ちそう…。皆さん、素敵な夜景と高級料亭の料理にすっかりご満悦でした。

今回の<事業企画委員会&忘年会>の楽しい企画をされた*児島正剛委員*、素敵なオーナーサロンをご提供頂いた*鎌田博子委員*、一流料理人の*富田順三委員*に感謝、感謝です。楽しいひとときでしっかり年忘れ。

■ 新連載予告

明けましておめでとうございます。

本日は二重橋から中継でお送りしております。



私たちはこの東京で仕事をしていて、休みになると地方に出かけそして温泉に入ったり、ある人は沢登りを楽しんだりして、心をリフレッシュしてまた明日からの過酷な仕事のアイデアを練ったりする人が沢山おられると思います。

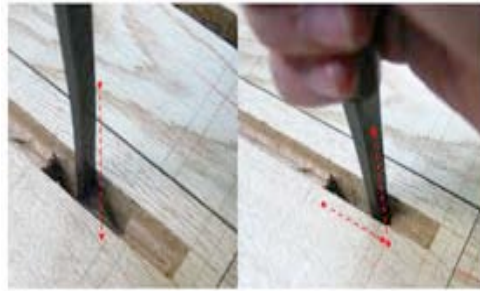
たまたま秋葉原に行ったとき通り掛かりに見た看板が面白く町内の人に尋ねて見ましたら、一昨年東京は江戸開府400年にあたりその記念事業の一環として

“町名由来板”の設置がなされました。そして去年の三月、千代田区において百余基が完成したそうです。上の写真はご存知二重橋ですが、長崎の眼鏡橋のような型なので二重橋だと疑はなかったのですが、実は昔は木製の橋でしたが堀が深く橋脚が立てられず橋を二重にし、下の橋を支えにしたので此の名前がつけました。

そして明治21年に鉄製の橋に改修されました。このような面白い話を挿入しながら次回から連載していこうと思っております。ご期待ください。

■ 知ってて知らない道具たち

建築現場で大工さん達の仕事ぶりを見るのが大好きで、木くずなど片づけながら一日中見ています。ノコの引き方やカンナの使い方、そして最近あまり見られないのがノミの使い方です。工場で最初から加工して現場に持ってくるのですが、先日どうしても穴を開けなければならない場所があり、大工さんがノミで穴を開け始めました、中程まで達したとき中央の盛り上がりなかなかとれなく、すると此のようなノミを出してきました。



そして耳かきのように、盛り上がった木くずを欠き出しはじめました。こんな道具が有ったのかと素晴らしい感動を覚えました。このノミは“もりのみ”とか“かきだしのみ”とか言うそうです。



左のような隅を調整するノミを“うなぎ”と呼ぶようです。



■ 編集後記

新春を迎え心気も清々しく、今年こそと“しゅつたつ”されたことで御座いましょう。NLも今回で45回目を数え、少しでも読みごたえのあるよう、情報委員揃って気を新たにしております。

情報委員会 編集 井上 常雄